

まだ決着のつかないカンボジアの武器問題



Address:
Room No.535, Phnom Penh Center,
Corner Sihanouk Blvd. No.274 &
Sothearos St. No.3,
Sangkat Tonle Bassac,
Khan Chamkarmon,
Phnom Penh, CAMBODIA



PHONE: +855-[0]23-224-001
FAX: +855-[0]23-220-330
E-MAIL: adm.jsac@online.com.kh
URL: <http://www.online.com.kh/users/adm.jsac/>

バタンバン州の JSAC ワークショップにて、警察に武器を差し出す住民。住民の自発的な武器の供出は、彼らがカンボジアの武器法を理解し、コミュニティーの平和と安全を守るために、今後、警察等と協力する意思があることを、体現しています。

2006年、JSACとカンボジア内務省は対象州2州(バタンバン州・コンポントム州)の住民の協力を得て、小型武器13,372丁を回収(発掘分含む)しました。カンボジア政府は、既に20万丁以上の回収された武器・余剰武器を破壊処分し、内戦の結果、大量に残された小型武器の処分においては目覚ましい実績をあげています。しかし、まだ地方においては相当数の小型武器が残されており、地域の平和と住民一人一人の安全にとって問題であることも事実です。

違法な武器が地域社会から取り除かれること自体が、住民の安全と平和に貢献することは明らかです。一方で、住民の自発的な武器供出は、社会の平和と安全を守るために必要な、住民と行政・警察間の信頼・協力関係の構築の第一歩でもあります。この回収プロセスが、プログラム終了後もカンボジアにおける適切な小型武器管理と地域社会の平和と安全に結びつくように、JSACは様々な切り口から活動を行っています。住民・警察・地方行政の間の信頼関係構築の支援、警察の武器管理能力の向上や武器管理体制強化の支援、関係者及び住民を対象にした意識向上・啓発活動など、全て違法武器のない平和で安全な社会を作り上げていくためには、欠かすことの出来ない活動です。

このような方針の下、2006年にはプログラムの中で以下の活動を行い、実績をあげました。

- ・ 小型武器 13,372 丁を住民から回収・発掘(住民の協力による)し、9,798 丁を公開式典にて破壊焼却。
- ・ ワークショップを 1,243 回開催。警察・行政、住民、NGO、メディア関係者計 88,291 名が、
- ・ 小型武器問題について理解を深め、関係者の信頼醸成がはかられた。
- ・ 地方警察官643名に対し、能力強化と適切な武器管理のための研修を実施。
- ・ 適切・安全な武器管理システム(保管施設とコンピューターシステム他)を2州において構築。
- ・ 多数の啓発教材・看板他の配布・掲示、メディアを活用した小型武器問題に関する意識向上活動の実施。



JSAC・内務省のこのプログラムは
本年9月まで続く予定です。

本年度もプログラムへのご理解・
支援を宜しくお願いします。

(← 武器法ポスターの挿絵 →)



日本小型武器対策支援チーム(JSAC)概要

日本政府からカンボジア政府に対し供与された紛争予防・平和構築無償支援「カンボジアにおける平和構築と包括的小型武器対策プログラム」の実施のために、2003年4月日本国際協力システム(JICS)によって設立。5つのプロジェクト(1. 平和のための小型武器削減と開発プロジェクト、2. 小型武器管理・登録支援プロジェクト、3. 小型武器破壊プロジェクト、4. 意識向上プロジェクト、5. 国家委員会支援プロジェクト)の実施を通じて、カンボジアの小型武器削減と平和構築を包括的に支援しています。2006年12月半ば現在、5州にわたり合計25,513丁の小型武器を回収しました。

詳細については、ウェブサイトをご覧ください。URL: <http://www.online.com.kh/users/adm.jsac/>